

9月14日（月）あいさつ・実習生・振り返り

新しい一週間が始まりました。生活委員会の子は、月曜日にあいさつ運動をすることになっているようで、門の前で元気な声を響かせてくれていました。この運動が終わった後、感想を委員会の子に聴いてみました。内容は二つに分かれました。「あいさつしてくれない子がいて残念」「あいさつをしてくれる子がいると嬉しい」。どちらも正しい捉え方です。感じ方・考え方の違いが、このような場面でもよく分かります。

本日より10日間、教育実習生を迎えました。主に六年生の教室で学んでもらう予定です。朝、本人に話を聞くと教師になる熱い思いを感じました。「できなかったことを、できるようにしてくれた先生との出会いがあった」「子供ができることを増やす、手助けをしたい」「子供と仲良く過ごしたい」「やりがいのある仕事だと信じている」などなど。そんな思いは、教室でも溢れていました。子供たちからの質問にも誠実に答えていました。

一年生の算数では、10のまとまりを使って数をかぞえる学習をしていました。授業の振り返り、では、分かったことだけではなく、「？」や次への意欲を書いている子がいました。「次は30までやるんでしょ」「つぎはけいさんをしてみたい」「かずはどんどん大きくなっていきそう」などです。一年生でも、このように時間が与えられれば、発展的に考えることができると、感心しました。



9月13日（日）次期教育

新しい学習指導要領の素案が出てきました。いろんな情報が新聞にも出ています。本日は、文科省の方が講演するイベントに参加し、その内容や方向性を学ぶことができました。初めて行った桜美林大学、会場は立ち見が出るほどぎっしりと先生方で埋まっていました。学校の裁量で時間割を作ったり、学習内容が厳選されたり、情報や探求の学



習が入ってきたりと、ワクワクするような学校が作れると、私は信じています。

9月12日（土）ランチ

一生行くことがないと思っていたホテルで、高級ランチをいただきました。実は、無料で食べられると聞いて、あるツアーに参加したのです。集合場所からここまでバスで送迎してもらい、無料で食事。そしてその後に、本当の目的地へと行くのです。目的地では、人が健康でいるために欠かせない就寝についてしっかり学び、健康な眠りにを支えてくれるモノを体験したり、説明を聞いたりしました。



9月11日（金）予定・奇数・骨

朝、一年生の教室に入ると、数人が後ろの黒板で何か作業をしていました。しばらく見ていると、本日授業の予定を貼っているのです。三人が中心になって、教科の書いてあるプレートを並べています。事前に先生から時間割を渡されているようで、それを確認しながらの作業でした。他の子はこの情報を頼りにしているようです。重大な仕事です。このような活動を通して責任感や確実性を身につけていくのでしょう。



五年生が奇数・偶数について学び合いました。ジャンプ課題としておもしろい問題が出されました。「この教室にいる人の数は、奇数か偶数か」「この教室にある、うわばきの数は、奇数か偶数か」。人の数は19人で奇数でした。うわばきの数は34なので偶数でした。「一人がふたつ履いているから偶数」という解答を、先生は期待していたようですが、子供たちはしっかりと数えて答えました。



理科室では、「手首より先の骨の数は何本か？」という問題が出されていました。子供たちは、絵にかいたり、自分の手に印をつけたりして数えています。発表では、2～

16まで、様々な考えが発表されていました。「1本の指に1本だから5、それに手のひらに1本、だから6本」や、「親指に2本、人差し指に3本・・・」など、発表を聞いていても、数える時の苦勞を感じました。



9月10日(木)ストレス・ふろしき・三日間

六年生の発育測定前に「ストレス」についての授業を養護教諭が実施しました。ストレスはあるか。どんなことで感じるか。そもそもストレスとは何か。ストレスを解消するにはどうするか。これらについて学び合いました。解消法として、①評価を変える ②相談者をつくる ③リラクゼーションを行う が紹介されました。写真は、音楽に合わせてリラクゼーションを行っている場面です。高学年になればストレスがあるのは当たり前。どう付き合っていくかで、自走できるかどうかに関わってきそうです。



四年生が道徳で、日本に伝統的に使われている物について学び合いました。授業後半に「ふろしき」が登場し、使ってみることになりました。ほとんどの子が見たこともないと言っていたのですが、教科書や筆箱などを包み、ふろしきの端をしばってみると、簡単に持ち運びができることに気づいていました。一枚の布がこんなに便利だと知ってくれたようです。便利な時代だからこそ、このような先代が使っていた物に探求の思いを馳せてくれたら嬉しいです。



向原中学校の社会体験チャレンジ三日間が終わりました。生徒さんたちに感想を聞いてみると、異口同音に「最初は緊張した」「不安だった」、そして「話しかけてくれたのですぐに仲良くなった」「すぐに慣れた」「最後は笑顔でさようならと言ってくれた」などの話をしてくれました。印象に残った子を一人ずつ発表してもらおうと、目立つ子だけでなく、「いつも笑顔だった子、や優しくしてくれた子、の名前が上がりました。



9月9日（水）訓練・関節・外へ

避難訓練を実施しました。今回は、職員にも伝えずに行いました。知っていたのは校長、教頭、安全主任のみです。校庭は水たまりが多かったのに、避難場所も体育館、しかも北校舎で学んでいる2, 3, 4年生のみが集合するという設定にしました。1, 5, 6年生は廊下で待機です。子供たちも先生たちも、驚きの中でスムーズに避難ができました。いつも以上の緊張感のためか、ほとんど話し声がありませんでした。

教室でブリッジをしている子は、運動をしていたのではありません。関節が背中にあるか調べていたのです。足を曲げている子や指を曲げている子もいました。友達の背中を触って数えている子もいました。お腹を触って、どこで曲がるのかを調べている子もいました。これは理科の学習です。「体の中に関節がいくつあるか」の課題を解決するために、学び合っていたのです。

昼休み、雨が上がっていました。校庭で遊べる場所があると知った子たちは、勢いよく校庭に出ていきました。遊ぶ場所を目指して一目散に走っていく子もいれば、靴を履き終わるや否や鬼ごっこを始めた子もいます。雨が続くこの頃、外遊びができないと辛いと感じる子が多いはずです。せっかく暑さが和らいできたので、子供が元気に遊べる日が増えてもらいたいです。



9月 8日（火）体操・中学生・協議会

体育朝会は、各教室で行いました。運動委員会の指示に従って体を動かす時間となりました。外に出なくても張り切って体を動かすことができることを、実感しました。10分程度でしたが、「運動の楽しさ」や「運動の価値」に気づいた子がたくさんいたようです。「朝からスッキリした」「これからも朝は運動しよう」という感想を聞くことができました。



向原中学校の生徒9人が、社会体験チャレンジで本校で学習支援をしてくれます。3日間です。初日は低学年を中心に教室に入ってもらいました。3年生の子が「優しく言ってくれるので分かりやすかった」「私もこんな中学生になりたいと思った」と、感想を教えてくださいました。本校の卒業生である生徒さんも、小学校の時よりもはるかに頼もしい存在になったことを、私たちにを見せてくれました。



本年度第二回学校運営協議会が、本校で行われました。中学校区を支える方々と、学校教育等について協議する大事な会です。会場となった本校の授業の様子もたっぷり見ていただきました。一年生の下校の様子も見ていただきました。五年生が少人数指導を行っている場面があり、きめ細かい指導が必要だという声もいただきました。



9月 7日（月）登校・雲・漢字

二時間遅れでの登校。数人で見守る予定でしたが、その必要もないほど、きれいに雨が上がってくれました。登校してくる子供たちは、あまり元気がないように感じました。生活委員会の子も張り切ってあいさつ運動をしていていましたが、「いつもより声が小さかった」と言っていました。月曜日、二時間遅れ、肯定では遊べない、元気が出ない理由も分かる気もします。扇っ子には、いつでも元気にあいさつできる人でいてもらいたいものです。



五年生の理科では、雲について学び合いが行われていました。「雲は水でできていること」を確認できた後です。「雲は気体か、液体か、固体か」が解決すべき問題です。私が見ていた時間では、「気体」と答えた子が12人、液体4人、固体4人、考えがまとまらない7人でした。意見が発表されるたびに「固体」派の中で「考えが変わった」子が増え始めました。雨の日にピッタリの学びです。



一年生の国語。文章を読む前に先生が「今日は新しい漢字が登場する」ことを話しました。「漢字」の言葉で、子供たちの背中が伸びた気がします。開いている教科書の

漢字を見つけて「き（木）だよ」と隣の子に話している子もいます。音読が始まると、気のせいかもしれませんが、新しい漢字のところで**声が大きくなりました**。**新しいこと**、**難しいこと**ほど、**張り切って**学ぶ。これが子供の本性なのだと感じました。



9月 6日（日）二時間遅れ

「**記録的な大雨**が続く」という予報どおり、本日は強い雨に何度も打たれてしまいました。昼前には、「明日の**二時間遅れ**」の連絡が入りました。アプリで天気の状態を見ると、入間市は一日強い雨が降りそうだと分かりました。ラジオでは「**局地的な大雨**が続く一日になりそう」と伝えています。とにかく、子供たちが**安全**に登校してくれることを、その時間だけでも雨が弱まることを祈るばかりです。



9月 5日（土）作品展

本日は仕事も残っていることもあり、出勤。昨日まで行われていた**夏休みの作品展**を一人で楽しみました。吸うクラスはすでに片付けられていたのですが、たくさんの素敵な作品を見て、**写真**を撮ることができました。HPの「**図工の作品**」にアップしようと作業を進めました。ぜひ多くの方に見てもらいたいです。`平面、`立体、`研究、の3つの部門でまとめてみました。



9月 4日（金）シンデレラ・記録・給食

掃除の時間、一階の渡り廊下の担当は**二年生**です。無言で黙々と取り組んでいます。放送でも毎回流れる「**シンデレラぶき**をしましょう」を、しっかり実行している子がいましたが、他の子は**両手**で押し進むようにしています。どうしても力を入れたくなるのが子供の心情なのでしょう。



シンデレラで拭いている子が先頭に立つと、他の子も真似て「シンデレラ」を始めてくれました。**モデル**がいるというのは、重要な教育環境です。

市内体育祭の選手を先行するため、五六年生が記録会を行いました。希望する種目通りに全員が出場できればよいのですが、**出場選手数**は各校で決まっていますのです。二学期早々の活動ですが、夏休み中に運動していたかどうかがよく分かります。ある子は「市内体育祭まで、**毎日運動して、体を鍛えたい**」という感想を送ってくれました。

給食の感想を毎日子供たちにお願ひしています。金曜日以外は二年生以上に配信していますが、**金曜日だけは一年生**にも配信しています。この日は、7人の一年生が感想を送ってくれました。「**ニンジン**がおいしかった」「**サラダ**もおいしかった」「思った以上においしかった」「**ジャガイモ**がおいしかった」などの声が送られてきました。給食後の時間がないと感想は打ち込めないと思うので、準備や食事、片付けが早くなってきたと想像します。



9月 3日（木）人事院・掃除・キャラ

毎年、入間市にある**人事院公務員研修所**には、国家公務員の方々が研修へ訪れます。研修の一環で、入間市の施設や企業を訪問することもあります。今年も扇小学校には、体験学習というねらいで、約30名の方が訪れました。授業を参観してもらい、**五年生**の教室で交流をしました。

「収入は？」「大学は？」「**消費税**はどうなるか？」「**外来虫**の防ぎ方」「**人手不足**」「**米の価格**」などなど、けっこう専門的なことの質問も出ていました。

昼休み、**二年生**が数人で、**体育館前**の廊下を掃除していました。しばらくは黙って見ていましたが、気になることを聞いてみました。「誰かに言われてやってるの？」と。少し聞き方が雑でしたが、一人の子がはっきりと「**誰にも言われてません**」と答えてくれました。他の子は「私たち、**汚いのが嫌い**なんです」と言っていました。**自発的**に数人で



集まって、落ち葉や雑草を取り除いてくれたのです。

保健委員会では楽しそうな活動が行われていました。

「保健室のキャラクターを作ろう」というのです。クラスごとに絵を描き、命名しました。「ほけんしつくん」「チク太郎」「ナースちゃん」「バンソ・コウ」「くますけ」「**ばんそこちゃん**」など。どれか一つに絞ると担当は話していました。選ばれたキャラクターのお披露目が楽しみです。



9月 2日（水）うんち・応援・新聞紙

発育測定が始まりました。本日は**一年生**です。測定の前、養護教諭のミニ講座は「**よいうんち**を出そう」ということです。そのための3つのポイントを話していました。①何でも**食べる**「まごはやさしい」 ②毎日**運動**する ③規則正しい生活をする「**決まった時刻**にトイレに行く」 自分の**健康状態**を知る意識を高めるためにも、とっても大事な話でした。



20分休み、応援団が集まっていた。団長が会を進めていましたが、本日が**4回目**だということで驚きました。夏休みの宿題として、「**どんな応援**をするか」を考えてきたようです。応援歌、団長の登場、応援エールなどなど、様々な案が出てきました。おそらくこれで決まることはないでしょう。まだまだ会議を重ねていくようです。**運動会への機運**が高まってくれたら嬉しいです。



二年生が図工で、新聞紙を扱っていました。「**丸めて固めてみよう**」という活動が始まっていた。想像通りの姿が表れました。`思いっきり**堅い玉**を作る子、`誰よりも**大きな玉**を作る子、`作った玉を**投げて遊ぶ**子、などなど。予想しなかった姿もありました。それは、作った玉を床にたたきつけて、その**音の違い**を探っていた子です。「自走する」姿、二学期も健在だと感じました。



9月 1日（火）始業式・思い出・仲間



扇っ子が帰ってきました。二学期の始まりです。自作、自慢の作品を手に登校してきた子の中には、私にその大作を説明してくれた子もいます。始業式で私は「二学期がんばってもらいたいこと5つ『ヒヤシチュウカ、』」の話をしました。児童代表の四年生は「運動会の演技で見本になりたい」「時間を守って生活したい」という思いを語ってくれました。長い夏休みが終わり、長い長い二学期がスタートしました。

各教室では、夏休みの思い出話を伝え合う時間がありました。あるクラスではペアで、あるクラスではグループで、あるクラスでは全員に、形は様々です。「〇〇さんは沖縄に行ったんだよ」と、友達の思い出を教えてくれる子もいました。また、休み中に作り上げた作品を自慢してくれる子もいました。長い分だけたくさんの思い出があり、力作が完成したようです。

二人の転入生を迎えました。三年生と一年生です。二人ともまだ緊張していましたが、クラスの子たちからは大歓迎されていました。新しい仲間が増えるのは嬉しいものなのです。自己紹介の場面を見せてもらいましたが、元気いっぱい「私の名前は〇〇です。好きな遊びは〇〇です」という声が続いていました。二学期スタートの節目の日が、この新しい扇っ子にとって思い出深い日になったことでしょう。

